

## インターバンクの声（2014年8月7日）

やはり安易に市場の潜在的なドル高への意識が高いはずだと思い込んで油断すると、得てして昨夜のニューヨーク市場の昼過ぎからのようなドル急落に遭遇してしまう。もっとも前日にはウクライナ情勢を巡って、ロシアが欧米による制裁への対抗措置を検討し始めたとしてリスク回避の円買いがゆっくり進み始めたのは分かっていた。

ただ、その時はあくまでドル円でのドル売りに限られていた。ところが昨夜は、対円はもちろんのこと、対ユーロや豪ドルでもはっきりとドル売りが進んだ。シカゴの先物市場で誤発注があったのではとの噂も出ていたようだが、リスク回避姿勢が強まっていたところに102円台前半のストップが付き始めたことや、200日移動平均線を下回ったことも重なったのが大きく影響したようだ。それでも短時間で101円台から反発し始めたことで、良いドルの買い場だったのかも知れないが、まずは昨夜下落し始めた102円30銭台を回復させないとドルの下落リスクは残りそうだ。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。